

基本事業コード	02050001	担当課所名	工事検査課
基本事業名	工事検査事務		
総合振興計画	基本柱(章)	7	互いに助けあう「協働のまち」
	政策	3	誰からも信頼される市役所づくり
	施策	1	効率的な行政の展開
			総合振興計画 174 ページ

基本事業の概要	工事検査事務で設計金額130万円以上の工事、設計金額50万円以上の業務委託の書類及び実地検査。的確に検査を効率よく行う。
---------	--

対象	市が行う公共工事
意図 (対象をどのようにしたいか)	契約及び設計、仕様を満足した工事完成並びに公正な評定を効率よく行う

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
設計及び仕様を満足した完成率	完成済工事数/検査対象の工事数	%	100.	100.	100.	100.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	検査事務	指標 工事検査実施率			100.	%	A	
		61,676	23,598	50,000	100.		維持 維持	
02	工事成績評定システム維持事業	指標 工事評定システムの稼働運用率			100.	%	A	◎
		504,000	1,784,580	470,000	100.		維持 維持	
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		630,000	1,940,000
事業費の合計(円) (A)		565,676	1,808,178
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
正規職員	地方債		
	その他特定		
臨時職員 (事業費に含む)	一般財源	565,676	1,808,178
	業務量	2.00人	2.00人
人件費(B)		11,847,144	12,041,002
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		12,412,820	13,849,180

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。 基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？
基本事業指標の分析	この事業は、工事又は業務委託検査における検査評定事務の効率化を図ることを目的としているため、基本事業指標を成績評定システムの稼働運用率とした。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 枝番号01検査事務は当課のメインの業務であり、基本事業を構成することは問題はない。枝番号02の工事成績評定システム維持事業はシステムの保守管理業務委託により正常な運用を図る必要があり、システム障害時の早急な対応が可能となっている。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 工事及び委託業務の完成検査や成績評定は秩父市契約規則や地方自治法及び会計法により実施するもので妥当である。なお、工事成績評定システム管理(サーバを含む)は民間委託をしてシステムの安定化を図り、検査業務の運用を行なっている。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 検査業務の一連の作業は、工事成績評定システムで行われており、システムの正常な運用を図る必要があるため。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	<p>監督員確認事項チェックリスト(工事編)の見直しを行ない的確に検査業務を遂行する。</p> <p>工事成績評定システムを最大限に活用し事務の効率化を図ると共に、監督員確認事項チェックリストを作成し評定作業の適正化を進め公平性を高める。</p> <p>監督員確認事項チェックリスト(工事編)を作成し評定作業の適正化を進め公平性を高めた。</p>
短期的(1～2年以内)に実施可能な改善提案	<p>工事成績評定システムのサーバ本体の耐用年数(5年)が経過しており、システムサーバ故障による業務障害を未然に防止するため、サーバ本体の交換作業を実施する。</p> <p>工事成績評定システムのサーバ本体の交換及びデータの移行作業(業務委託)を完了し工事成績評定システムの安定的な運用を図った。</p>
中長期的(概ね3～5年)に実施可能な改善提案	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 工事成績評定システムの効率的活用により事務の軽減が図られ、充実した検査により、その安全性はもとより品質の優れた物を提供することが出来る。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	逸見 進	電話番号 0494-25-5215
----------------------	------	----------------------